



## 頭痛のお話

### その頭痛大丈夫ですか？



脳神経外科・部長

天野 慎士

頭痛は外来を訪れる患者さんの主訴の中で最も多いものの一つです。頭痛は一次性頭痛（機能的頭痛）と二次性頭痛（症候性頭痛）に分類されます。

一次性頭痛は、片頭痛が人口の5〜10%、緊張型頭痛が約20%と報告されています。つまり、4人に1人が頭痛に悩んでいるということになります。片頭痛は、ズキズキとした痛みが頭の片側に生じることが多く、頭痛の持続時間は4〜72時間以内とされています。頭痛のために動きたくなくなり、吐き気を伴うことも多くあります。一方で緊張型頭痛は、肩や首の筋肉の凝りが原因となる頭痛で、痛み方は、頭を両側から締め付けられる感じます。疲れてくる夕方以降に症状が出ることも多く、連日頭痛が起こることもあります。二次性頭痛は、くも膜下出血や

脳腫瘍、髄膜炎などの病気が原因となつて起こる頭痛で、原因疾患によつては生命にも危険が及びます。これまでに経験したことのないような激しい頭痛に突然襲われたり、物が二重に見えたり、手足が麻痺したり、頭痛が長引いたりする場合は、二次性頭痛を疑うことが必要です。二次性頭痛を疑った場合は、すぐに受診をすることをお勧めします。また、一次性頭痛でも頭痛持ちだからと諦めず、受診をすることをお勧めします。最近では、痛み止めの乱用により起こる頭痛が多くなつてきており、痛み止めで治まるからと薬を使い続け、薬が原因の頭痛になつてしまつている人もいます。現在は、全ての頭痛に対応方法があると言われています。その頭痛諦めずに、まずはお近くのかかりつけ医に相談してみたいかがですか？

## かかりつけ医を

### 持ちましましょう

市立総合病院 地域医療連携室

0538-3815000 (代表)  
0538-3815050



これから、団塊の世代が後期高齢者になり医療需要の増加が予想される中で、当院とかかりつけ医の役割分担はますます重要になっていきます。日頃から何でも相談できるかかりつけ医を持って、必要に応じて当院を紹介してもらうようにしましょう。

### 当院には必ず紹介状をお持ちください

緊急受診の必要がない方は、紹介状を持参せずに当院を受診すると5500円の特定初診料がかかります。これは、5500円支払えば、紹介状がなくても自由に受診できるということではありません。紹介状がないまま受診されても、看護師によるトリアージで緊急性がないと判断した場合には、かかりつけ医の受診をご案内することがあります。当院を受診される際は、必ずかかりつけ医からの紹介状をお持ちください。

### 紹介状をもらったらずら予約しましょう

当院では、今年の1月から原則予約制を採用し、紹介状のある方も、

予約をしてから受診をしていただくようにしました。これまでは、4割の初診患者が予約なしで受診されましたが、制度導入後は2割程度まで減少し、必要な検査や手術が予定通り行えるようになってきました。予約をしないで来院された場合、紹介状があつても翌日以降の対応となる場合もありますので、必ず予約をしてからのご来院をお願いします。

### 自己判断での受診控えはやめましょう

コロナ禍により、当院だけではなく、全国の医療機関で受診患者数が減ってきています。マスク着用などの影響で感染症の発生自体が減っていますが、本来受診すべき方が受診をやめてしまつているケースもあるようです。当院でも感染予防対策を十分行つとともに、感染患者は一般患者と動線を分けるなどの対策をしていますので、感染するリスクは高くありません。自己判断で受診をやめるのではなく、必ずかかりつけ医に相談してください。